

第49期 事業報告書

平成17年4月1日～平成18年3月31日



株式会社





二分割カルバート



代表取締役社長

権 藤 勇 夫

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引立てを賜り厚くお礼申し上げます。

当社第49期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）の営業の概況等につきまして以下のとおりご報告申し上げます。

営業の概況 (平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

1. 企業集団の営業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国の経済は、円安を背景に輸出増加による企業収益の改善や需要の増加により設備投資が増加し、又、個人消費も緩やかに増加するなど、景気は緩やかに回復してまいりました。

当社グループが属するコンクリート製品業界におきましては、公共工事の縮減傾向は下げ止まる兆しも見えず、同業者間の過当競争に歯止めがかからぬまま依然として厳しい状況のなか推移いたしました。

このような経営環境下で当社は、前連結会計年度より実施しております「新中期経営計画（平成16年4月1日～平成21年3月31日）」の必達に向け、改革の柱である営業戦略の強化、生産性の向上及び徹底したコスト削減に取組み、市場環境の変化に即応できる経営体質への転換を図ってまいりました。

経営体制面につきましては、不退転の決意で改革推進の先頭に立つことと経営責任の明確化を図るため、取締役の任期を1年といたしました。又、諸経営課題の深掘りと計画的かつ迅速な対応を図ってまいりました。

これらの取組みに加え、台風や地震等の災害復旧工事の特需とあிட்டった結果、当連結会計年度の売上高は112億31百万円（前連結会計年度比1.9%増）、経常利益は5億3百万円（前連結会計年度比136.2%増）となりました。当期純利益につきましては、前連結会計年度において遊休不動産の処分による特別利益の計上があったため、前連結会計年度比3.1%の減少となりましたものの3億92百万円となりました。

なお、当連結会計年度の計画は達成し、繰越損失も解消いたしましたものの、引続き経営環境の厳しさは変わらぬなか、財務体力増強による自己資本の充実を優先させるべく、誠に遺憾ながら配当金につきましては無配とさせていただきます。

株主の皆様には深いご理解をたまわりますようお願い申し上げます。

(売上高の内訳)

(単位：千円)

期 別 部 門	第48期 平成16年4月1日から平成17年3月31日まで		第49期 平成17年4月1日から平成18年3月31日まで	
	金 額	構成比率(%)	金 額	構成比率(%)
土 木 部 門	9,926,184	90.1	10,236,389	91.1
景 観 部 門	632,980	5.7	538,411	4.8
レジンコンクリート部門	462,317	4.2	457,004	4.1
合 計	11,021,482	100.0	11,231,804	100.0

2. 企業集団の対処すべき課題

今後のわが国経済は、設備投資や雇用情勢の好転あるいは国内民間需要に支えられた景気回復基調が続くと見込まれますが、その一方では原油価格の高騰、米国・中国経済をはじめとする世界経済の動向等、景気回復に影響を及ぼす不透明な要素も多く存在し、楽観視できない状況にあります。

又、当業界におきましても、国並びに地方財政の厳しさは依然として深刻であり、公共事業の縮減傾向は変わらず、厳しい経営環境が続くものと思われます。

このような状況下、当社グループは、新中期経営計画3年目の目標必達に向けて、さらなる営業戦略の強化・推進及びグループ会社間の機能連携強化による生産性向上とコスト削減を図り、収益力を高めて株主皆様のご期待に応えて参る所存でございます。

3. 企業集団の資金調達の状況

資金調達につきましては、金融機関よりの借入による経常的な資金調達のみであります。

4. 企業集団の設備投資の状況

- ① 当連結会計年度中の設備投資の総額は4億35百万円であります。
- ② その主なものは各工場における工具型枠、機械装置であり、機械装置については以下のとおりであります。

工 場	内 容
川 南 工 場	天井クレーン・給材トロリー
鹿 児 島 工 場	投入機・オートスランプ計
北 九 州 工 場	ライン製造設備・テーブル式ブラスト機
佐 賀 工 場	ライン設備・反転機

5. 企業集団及び当社の営業成績及び財産の状況の推移

- ① 企業集団の営業成績及び財産の状況の推移

当連結会計年度及び前連結会計年度の営業成績・財産の状況は次のとおりであります。

区 分	平成16年度 第48期	平成17年度 第49期(当連結会計年度)
売 上 高(千円)	11,021,482	11,231,804
経 常 利 益(千円)	213,239	503,625
当 期 純 利 益(千円)	404,471	392,058
1株当たり当期純利益	76円75銭	86円98銭
総 資 産(千円)	9,557,446	9,627,990
純 資 産(千円)	834,596	1,252,022
1 株 当 たり 純 資 産	52円04銭	144円65銭

(注) 第48期より連結計算書類を作成することとなりましたので、第47期以前の企業集団の営業成績、財産の状況は記載いたしておりません。

- ② 当社の営業成績及び財産の状況の推移

当期並びに過去3営業年度の営業成績・財産の状況は次のとおりであります。

区 分	平成14年度 第46期	平成15年度 第47期	平成16年度 第48期	平成17年度 第49期(当期)
売 上 高(千円)	15,384,271	11,759,406	11,059,945	11,230,243
経常利益(△損失)(千円)	△ 276,341	△ 377,268	211,634	492,118
当期純利益(△純損失)(千円)	△ 618,590	△ 4,087,720	403,359	386,012
1株当たり当期純利益(△純損失)	△112円95銭	△749円43銭	76円53銭	85円63銭
総 資 産(千円)	17,987,853	10,666,741	9,565,354	9,555,163
純 資 産(千円)	3,872,792	△ 183,119	835,322	1,246,702
1 株 当 たり 純 資 産	710円02銭	△ 33円57銭	52円21銭	143円47銭

(注) 第47期から改正後の商法施行規則に基づいて計算書類等を作成しております。このため、従来の「当期利益(△損失)」「1株当たり当期利益(△損失)」はそれぞれ「当期純利益(△純損失)」「1株当たり当期純利益(△純損失)」と表示しております。

企業集団及び会社の概況 (平成18年3月31日現在)

企業集団の主要な事業内容

セメント製品の製造・販売並びに施工、一般土木工事の施工並びに管理、樹脂コンクリート製品の製造・販売並びに施工を主な事業とし、その製品は大別して、次のとおりであります。

土木製品	河川製品類	ケスタ、グリーンロック、ネクストーン、E-ブロック、げんじくん、かご柵、のり柵、がんちゃん、波状岩、のぼるくん、とおりゃん瀬、擬木沈床、CCブロック	景観製品	舗装材	洗い出し及び擬石による平板・縁石・階段・皿型、透水平板、トレノックス（NOx除去平板）、植込柵、植樹柵 他
	擁壁類	パワーロック、逆Y型擁壁、トレグリッド、ストーンフォーム、ゆうパネル、あいパネル		ストリートファニチャー	車止め、外柵、ベンチ、吸殻入れ・屑入れ、水飲み、プランター、ポール、パーゴラ、モニュメント、前記製品にLEDを埋め込んだピカコン製品 他
	L型擁壁類	NNC、ハイタッチウォール	レジンコンクリート製品	UPC階段、YRG（U形用蓋・側溝蓋）、fitサークル、カーストップ、フリーボーイ、誘導ブロック、係船柱、前記製品にLEDを埋め込んだピカコン製品、分岐部側板 他	
	カルバート類	ボックスカルバート、アーチカルバート、エアーキヤスター工法			
	函渠・暗渠類	ライン側溝、サイドライン側溝、側溝カルバート、重圧管			
	側溝類	リボーン側溝、SF側溝、YCL側溝、トライボット用側溝			
	道路製品類	そうげん、プレガード、SGF（仮設用防護柵）、美サイレント、遮・ウォール			
水路類	YT水路、三面水路、軽量三面水路				
その他	アクアポンド、ボックスガレージ、防火水槽、耐震性貯水槽				

●土木部門

道路、港湾、河川、上下水道、宅地開発など、私たちの周りではさまざまな目的で開発事業が進められておりますが、今日の開発事業は環境への配慮を抜きには考えられなくなってまいりました。土木部門では、「開発の基本は自然との共存である」という考えからさらに一歩進んで、「自然の姿を破壊せずに融合を図り、より自然に近い環境を創出する」ことを念頭においたコンセプトのもとに、国土を守り、環境を保全し、人々の快適な暮らしを支える製品を数多く生み出しています。



ネクストーン



アーチカルバート



エアークャスター工法

●レジンコンクリート部門

レジンコンクリートは特殊樹脂をバインダーとして自然石を固化成形した人造石です。セメントコンクリートの3～4倍の機械的強度があり、耐摩耗性、耐薬品性、耐水性などにも優れ、美観とともに強度や耐久性の両面が必要とされる環境条件に最適な材料です。港湾、漁港の車止め、コーナー及び係船柱は塩害対策として利用されています。又、多彩な色彩表現及び優れた成形性によりアート感覚溢れる景観構成材としても幅広く利用されています。



カーストップ



YRG集水蓋

● 景観部門

街や都市の公園、テーマパークやアーバンリゾートは、人々の心の伸びやかさ、感受性の豊かさを育むうえで必要不可欠のものです。

緑地の花や樹木、自然の風景は人の心をなごませ潤いを与えます。

多彩な表情を持つヤマウの景観構成材は自然環境に広がりとお興行きを与え、開放感やスケール感を損なうことなく美しい景観を演出します。



擬石平板、車止め



車止め

トピックス

大型斜角カルバート

大型斜角カルバートは、道路と道路、道路と水路が交差する交差角が斜角となる埋設工事に最適な製品です。

特 徴

- ① 現場打ちボックスカルバートに代わるプレキャスト製の大型断面（最大内幅12m、内高8m）のボックスカルバートです。
- ② 斜角度は、直角交差～60°交差まで対応可能です。
- ③ プレキャスト化により、施工が容易で大幅な工期の短縮と省人化が図れ、経済性に優れています。
- ④ 道路下を横断的に埋設する地下道、道路、水路と広範囲にわたり使用できます。



福岡209号津福本町地区改築工事
斜角度62°

財務諸表

貸借対照表 (平成18年3月31日現在)

(千円未満切捨)

科 目	金 額
(資産の部)	
流 動 資 産	6,451,968
現金及び預金	755,761
受取手形	2,441,055
売掛金	1,990,031
有価証券	799
商品	9,481
製品	1,131,713
原材料・貯蔵品	93,356
仕掛品	65,610
前払費用	24,074
未収入金	10,869
その他の流動資産	38,936
貸倒引当金	△ 109,723
固 定 資 産	3,103,195
有形固定資産	2,766,599
建物	704,777
構築物	132,658
機械装置	552,922
車両運搬具	2,384
工具型枠	171,947
器具備品	9,721
土地	1,178,109
建設仮勘定	14,078
無形固定資産	37,131
電話加入権	11,625
その他の無形固定資産	25,505
投資その他の資産	299,464
投資有価証券	231,606
差入保証金	37,982
子会社出資金	12,000
破産債権、再生債権、更生債権 その他これらに準ずる債権	273,316
その他の投資等	23,656
貸倒引当金	△ 279,097
資 産 合 計	9,555,163

科 目	金 額
(負債の部)	
流 動 負 債	3,146,191
支払手形	1,673,669
買掛金	568,510
短期借入金	200,000
未払金	509,296
未払法人税等	18,921
預り金	3,417
賞与引当金	59,790
短期設備支払手形	106,617
その他の流動負債	5,968
固 定 負 債	5,162,269
長期借入金	4,638,600
退職給付引当金	467,820
繰延税金負債	48,540
リース資産減損勘定	7,308
負 債 合 計	8,308,460
(資本の部)	
資 本 金	800,000
資 本 剰 余 金	300,000
資本準備金	300,000
利 益 剰 余 金	92,363
任意積立金	8,928
特別償却準備金	8,928
当期末処分利益	83,435
株式等評価差額金	65,468
自 己 株 式	△ 11,129
資 本 合 計	1,246,702
負債及び資本合計	9,555,163

損益計算書 (平成17年4月1日から平成18年3月31日まで) (千円未満切捨)

科 目	金 額	
(経常損益の部)		
営 業 損 益 の 部		
営 業 収 益		
売 上 高	11,230,243	
営 業 費 用		
売 上 原 価	8,136,343	
販売費及び一般管理費	2,575,528	10,711,871
営 業 利 益		518,371
営 業 外 損 益 の 部		
営 業 外 収 益		
受取利息・配当金	3,466	
保険配当金収入	6,326	
鉄屑処分収入	11,698	
その他の営業外収益	40,557	62,049
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	78,460	
その他の営業外費用	9,842	88,302
経 常 利 益		492,118
(特別損益の部)		
特 別 利 益		
固定資産売却益	3,412	
投資有価証券売却益	28,731	32,143
特 別 損 失		
固定資産売却損	850	
固定資産除却損	56,191	
たな卸資産評価損	32,565	
災 害 損 失	22,807	
業務契約解約損	13,000	
その他の特別損失	1,663	127,077
税引前当期純利益		397,184
法人税、住民税及び事業税		13,061
法人税等調整額	△	1,889
当 期 純 利 益		386,012
前 期 繰 越 損 失		302,577
当期末処分利益		83,435

利益処分

(単位：円)

科 目	金 額
当 期 未 処 分 利 益	83,435,345
任意積立金取崩額	
特別償却準備金取崩額	2,786,970
計	86,222,315
これをつぎのとおり処分します。	
次 期 繰 越 利 益	86,222,315

連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成18年3月31日現在)

科 目	金 額
(資産の部)	
流 動 資 産	6,535,540
現金及び預金	845,691
受取手形及び売掛金	4,409,690
有 価 証 券	799
た な 卸 資 産	1,318,341
そ の 他	70,459
貸 倒 引 当 金	△ 109,442
固 定 資 産	3,092,449
有 形 固 定 資 産	2,767,065
建物及び構築物	837,435
機械装置及び運搬具	555,307
土 地	1,178,109
建 設 仮 勘 定	14,078
そ の 他	182,134
無 形 固 定 資 産	37,349
投資その他の資産	288,035
投資有価証券	231,606
そ の 他	335,525
貸 倒 引 当 金	△ 279,097
資 産 合 計	9,627,990

(千円未満切捨)

科 目	金 額
(負債の部)	
流 動 負 債	3,212,209
支払手形及び買掛金	2,233,864
短 期 借 入 金	200,000
未 払 金	574,649
未 払 法 人 税 等	22,652
賞 与 引 当 金	61,890
そ の 他	119,153
固 定 負 債	5,162,269
長 期 借 入 金	4,638,600
退職給付引当金	467,820
繰 延 税 金 負 債	48,540
そ の 他	7,308
負 債 合 計	8,374,479
(少数株主持分)	
少 数 株 主 持 分	1,489
(資本の部)	
資 本 金	800,000
資 本 剰 余 金	300,000
利 益 剰 余 金	97,683
株式等評価差額金	65,468
自 己 株 式	△ 11,129
資 本 合 計	1,252,022
負債、少数株主持分及び資本合計	9,627,990

連結損益計算書（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）（千円未満切捨）

科 目	金 額	
(経常損益の部)		
営 業 損 益 の 部		
営 業 収 益		
売 上 高		11,231,804
営 業 費 用		
売 上 原 価	8,113,411	
販売費及び一般管理費	2,632,730	10,746,141
営 業 利 益		485,663
営業外損益の部		
営 業 外 収 益		
受取利息・配当金	3,041	
保険配当金収入	6,326	
鉄屑処分収入	11,698	
その他の営業外収益	85,112	106,179
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	78,460	
その他の営業外費用	9,755	88,216
経 常 利 益		503,625
(特別損益の部)		
特 別 利 益		
固定資産売却益	3,412	
投資有価証券売却益	28,731	32,143
特 別 損 失		
固定資産売却損	850	
固定資産除却損	56,191	
たな卸資産評価損	32,565	
災 害 損 失	22,807	
業務契約解約損	13,000	
その他の特別損失	1,663	127,077
税金等調整前当期純利益		408,692
法人税、住民税及び事業税		17,518
法人税等調整額		△ 1,694
少 数 株 主 利 益		810
当 期 純 利 益		392,058

株式の概況 (平成18年3月31日現在)

●株式の状況

① 会社が発行する株式の総数 ……………22,024,000株

種 類	会社が発行する株式の総数 (株)
普 通 株 式	20,024,000
優 先 株 式	2,000,000

② 発行済株式の総数 ……………7,506,000株

種 類	発行済株式の数 (株)
普 通 株 式	5,506,000
第 1 回 優 先 株 式	2,000,000

③ 株主数……………505名

種 類	株 主 の 数 (名)
普 通 株 式	504
第 1 回 優 先 株 式	1

●大株主の状況

① 普通株式

株 主 名	当社への出資状況		当社の当該株主への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)	持株数(株)	出資比率(%)
明治安田生命保険相互会社	325,000	7.23	—	—
第一生命保険相互会社	240,000	5.34	—	—
株式会社福岡銀行	222,000	4.94	—	—
株式会社鹿児島銀行	195,000	4.34	46,317	0.02
ヤマウ従業員持株会	189,000	4.20	—	—
株式会社トクヤマ	181,000	4.03	—	—
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	170,000	3.78	—	—
株式会社西日本シティ銀行	160,000	3.56	15,885	0.00
株式会社佐賀銀行	130,000	2.89	80,085	0.05
岩井証券株式会社	130,000	2.89	—	—

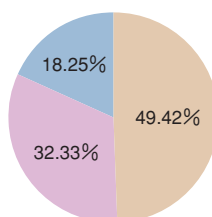
(注) 当社は、自己株式998,340株を所有しておりますが、当該株式には議決権がないため上記大株主から除外しております。

② 第1回優先株式

株 主 名	当社への出資状況		当社の当該株主への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)	持株数(株)	出資比率(%)
株式会社福岡銀行	2,000,000	—	—	—

●普通株式所有者別状況

個人・その他	418名	2,721,000株	49.42%
金融機関	14名	1,780,000株	32.33%
その他法人	72名	1,005,000株	18.25%



会社概要

●会社概要

商号	株式会社 ヤマウ
本社	福岡市早良区東入部 五丁目15番7号
創業	昭和28年10月
設立	昭和33年2月
資本金	8億円
代表者	代表取締役 権藤 勇夫
従業員	282名 (平成18年3月31日現在)

●役員構成

代表取締役社長	………… 権 藤 勇 夫
取 締 役	………… 中 村 健一郎
取 締 役	………… 伊 佐 寿 起
取 締 役	………… 尾 野 友 信
常 勤 監 査 役	………… 柴 田 紘
監 査 役	………… 樋 口 正 孝
監 査 役	………… 佐 藤 満 洋

(平成18年6月29日現在)

●事業所

営 業 所 福岡(中央・東)、北九州、久留米、佐賀、唐津、大分、大分北、宮崎、
高鍋、延岡、日向、都城、日南、鹿児島中央、鹿児島北、鹿児島南、
霧島、鹿屋

工 場 福岡、北九州、佐賀、大分、宮崎、高崎、川南、鹿児島

(平成18年6月29日現在)



宮崎工場



鹿児島工場

株主メモ

決 算 期 日 毎年3月31日

定時株主総会 毎年6月に開催

基 準 日 毎年3月31日

その他必要があるときは、予め公告をして定めます。

1単元の株式数 1,000株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

証券代行部

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社

全国各支店

公 告 掲 載 方 法 日本経済新聞

貸借対照表及び損益計算書の公告は、当社ホームページ
(<http://www.yamau.co.jp/>) に掲載しております。



この冊子はすべて再生紙を使用致しております。